「日吉校の思い出」（抜粋）　今野清
昭和30年代の鉄山のにぎわい
『日吉小学校開校80周年記念誌』掲載

（略）私は昭和27年４月、日吉小学校に入学し、昭和36年３月日吉中学校を卒業するまで、日吉の地で過ごし、文字通り私の生まれ故郷といっても過言ではありません。（略）
父の仕事の関係で小学１年生から３年生の７月まで小樽市銭函で一時期を過ごし、昭和29年８月鉄山に戻ってきました。
その当時は小中学校が同じ校舎で、鉄山の全盛期ということもあって、全校生徒約300名が学んでおり、学校全体が生き生きと活気に満ちあふれておりました。とにかく毎月必ずといっていいほど数人の転入生があり、私のクラスも40名くらいだったと記憶しています。（略）

２．元日の全校生徒登校
中学校を卒業するまでの９年間、元日の朝は午前10時に全校生が体育館に集まり、新年の挨拶をすることになっていました。
あの頃は交通量も少なく、事故の心配もなく安心して雪道を自転車に乗って登校したものでした。
この時は普段の集会と違い、「おはようございます」とは言わず、「明けましておめでとうございます」と全員が言うことで指導を受けていたのですが、中には「おはよう」と途中までやる生徒もおり、爆笑が起こるなど楽しい新年の光景もありました。校長先生から話を聞いた後、ＰＴＡの方からミカンを２個ずつもらうのが何よりのお年玉でした。今と違ってミカンは正月にしか売っておらず、食べれないものでしたから、それはそれは貴重なものでした。

４．鉄山のこと
私は、父が針田鉱業所に勤務していたため自転車通学でした。夏の暑い盛りにはセミの鳴き声を聞きながら軽快にペダルを踏み、あまりの暑さに時には友だち数人と学校帰りに常呂川で泳いだこともありました。秋になると道ばたにある野いちご、山ブドウ、こくわ、サンナシなどをサルのような恰好をして木に登り、取って食べたことなども懐かしい少年時代の思い出として残っています。あの頃は鉄山全盛時代でもあり、70～80名近い生徒が通学していました。
特に秋の山神祭りは常呂町一番の賑わいで、当日は鉄山の生徒だけは１時間で授業が終わり、会社の鉱石運搬用の大型トラックが５台ほど学校前まで迎えに来てくれ、それに便乗して祭り会場に行き、宝探しや相撲などを見たりし、楽しい１日を過ごしたものでした。
中学３年生になると社会科野外授業の一環として、針田鉱業所のマンガン採鉱現場の見学会があり、数千メートルもあるトンネル内に入っていき、こんな危険な所で仕事をして大変だなあと驚いたものでした。見学が終わると会社の内容について説明があり、最後は職員倶楽部の大会議室で東映の時代劇映画を鑑賞しました。当時はテレビが学校や家庭にまだ普及しておらず、娯楽の少なかった時だけに強烈な思い出として記憶に残っています。

（略）

＊注

＊山神祭り：針田鉱業所にあった山神神社のお祭り。「当直日誌」では、昭和32年から35年までの開催を確認。昭和32年は9月12日、34、35年は10月12日開催。

「懐かしい我が心のふるさと日吉小学校」（抜粋）　今野清

昭和30年代の鉄山のにぎわい

『日吉小学校開校100周年記念誌』掲載

（略）百周年を記念し、昭和27年4月から昭和33年3月の小学校6年間と昭和33年4月から昭和36年3月の中学校3年間の思い出を書きます。

私は父が鉄山の「針田鉱業所」で常務取締役をしていたこともあり、鉄山のことに触れます。

小学校に入学した昭和27年4月、この時期からどんどん従業員が増加の一途をたどり、昭和30年頃は鉄山だけで世帯数が300戸を越すようになり、当然生徒数も増え毎年転校生が多く、妹のクラス（小学校14回卒業生）は当時45人在籍し、もう1人増え46人になれば1学年2クラスになるという、今では夢のようなことが、当時学校中の大きな話題になりましたが、残念ながら実現はしませんでした。

運動会や学芸会は相当に力が入り、学校はもちろん、日吉部落や鉄山全体が何をやるにしても活気に満ちあふれていました。

中でも鉄山の山神祭りは、元十両力士も含めた何十人ものの力士による宮相撲、夜の空を焦がすような花火大会、賑やかな出店など今でも懐かしく目に浮かんできます。

特に盆踊り大会は豪華な景品が話題を呼び、当時常呂町で一番で、日吉・吉野・登などから数多くの参加者がいて、祭り実行委員長の父は、針田喜一郎社長に代わり上位入賞者に汗だくになって景品を渡していた記憶が今でも強く残っています。

当時の鉄山の状況は一番方・二番方・三番方に分かれて1日24時間体制でマンガン採掘をしていました。作業が終わった従業員は会社の風呂に入り、家族も一緒に入れました。娯楽はテレビもなく映画が全盛時代だけに、週3回から4回実施される映画会は、昼間は家族、夜は従業員が鑑賞しました。子どもたちは学校があるので夜の鑑賞になり、翌日は当然勉強のことより映画のことが話題の中心になりました。（略）

年度（昭和）	２７	２８	２９	３０	３１	３２	３３	３４	３５	３６	３７
日吉小在籍数	１５６	１５０	１５０	１５９	１６６	１８３	１９９	２０２	２０１	１８６	１７３
日吉小卒業生数	２７	２４	２５	２２	２３	２４	２５	２７	３９	３３	３５
日吉中卒業生数	４５	４１	２８	４４	４０	３９	４０	３３	３１	４１	４１

（人）